

～カリニングラード～

カリニングラードは、15,100 平方キロメートルの面積を有し、リトアニア、ポーランド、バルト海に隣接しているロシアの飛地領である。カリニングラードは、13 世紀から 1945 年まで、ドイツ領としてドイツ騎士団やその後継者、プロイセンの公爵や王様の中心的領土の一部であった。カリニングラードという町の名前は、有名なドイツの都市の名ケーニヒスブルクからきたものである。第一次世界大戦後、旧ドイツ帝国の東部領土が割譲され、その際ドイツ領に残され、ケーニヒスブルクを中心とした東部プロイセンは孤立した飛地となった。それを再結合させるべくヒトラーの望みは第二次世界大戦への火種のひとつとなった。第二次世界大戦末期の 1945 年、ドイツ軍と赤軍の激しい戦闘が 3 ヶ月間続き、町はほぼ全壊した。現在、ロシアの飛地領となっているカリニングラードは、冷戦崩壊後に、リトアニアがソ連から独立したためである。今では、故郷を懐かしむドイツ人年長者が、かつての故国へ帰るためにカリニングラードに訪れている。一歩街に入るとこれまでの長い歴史を体感することができるだろう。

○大聖堂 Cathedral

Tel: (4012) 27-25-83

Open: 9:00-16:00

1333 年に建設されたゴシック様式のカトリック教会。教会の外壁には墓碑銘がいくつか保存されており、その中でも哲学者カントの墓が安置されている。バラ色の大理石を使った美しい墓であり、地元の新婚カップルが花を手向けに来る場所となっている



○ソビエトの家 House of the Soviets

ソビエト時代を象徴する中央広場の東側に立つH型の建物。この中央広場は、ドイツ騎士団がプロイセン人の土地を奪い、1225 年に築いたケーニヒスブルグ城があった場所である。



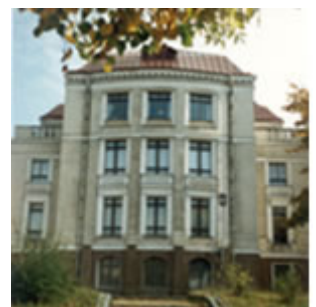
○地下壕博物館 Bunker Museum

Address: 3 Universitetskaya Str.

Tel: (4012) 53-65-93

Open: 10:00-17:00

第二次世界大戦時にドイツ軍が使った地下壕で、現在は戦争中の資料等が展示された博物館となっている。



○琥珀博物館 Amber Museum

Address: 1 Vasilevskogo Str,

Tel: (4012) 46-15-63

Open: 10:00-19:00 (summer season)

Open: 10:00-18:00 (winter season)

Close: Mon

琥珀生成の歴史から、珍しい古代の無視や植物を含んだ琥珀、中世の美術品、現代のものまで展示されている世界でも珍しい琥珀の博物館。



○王の門 King's Gate

Address: 112 Rrunze

Tel: (4012) 58-12-72

Open: 10:00-18:00

Close: Mon Tue

2005年に修復が完了し、外交の歴史などが展示された博物館にもなっている市内中心部に6つほど残る城門のひとつ。軍事的用途から強化レンガで建てられ、塔の中央にはボヘミアン王カットカール2世、プロイセン王フリードリッヒ1世、アルブレヒト公爵の彫像が飾られている。



○海洋博物館 Museum of the World Ocean

Address: 1 Naberezhnaya Petra Velikogo Str,

Tel: (4012) 43-05-06, 34-02-44

Open: 10:00-17:00 (summer season)

Open: 10:00-18:00 (winter season)

Close: Mon, Tue

水族館、海の歴史に関する展示室からなる、海に関するあらゆる品々を集めた博物館。その他にも、海洋調査船や潜水艦などが展示公開されており、船内を見学することができる



○フリートレンデル門 Friedland Gate

Address: Kalinina st. 6

Tel: (4012) 44-89-20

Open: 10:00-17:00 (winter season)

Close: Mon

見事な彫像に飾られたかつての城門のひとつ。戦前の生活用品や戦中の武器などが展示されている。これまでほとんど修復がなされていないため、歴史の趣を感じることができるだろう。



○アマリーナウ地区 Amalienau

プロイセンの面影が未だ尚残る戦前の住宅街。戦争の被害を受けずに残ったプロイセン時代の建物が建ち並んでおり、他の街の雰囲気とは異をなしている。



○スヴェトロゴルスク Svetlogorsk

夏は多くのカリーニングラードの住民が集まる海水浴場。明るい雰囲気の街の中、バルト海で泳いでみるのはいかがだろう。

